

平成14年度定期作況報告

6月20日現在
北海道立根釧農業試験場

・気象概況

5月下旬から6月中旬までの気象概況は次のとおりである。

5月下旬：最高および最低気温が16.5および5.8 でそれぞれ平年並であったため、平均気温は11.2 で平年並であった。降水量は27mmで平年より19mm少なかった。日照時間は57.3時間で平年より14.3時間多かった。

6月上旬：最高および最低気温が18.4および8.2 でそれぞれ平年より3.4および2.5 高かったため、平均気温は13.3 で平年より2.9 高かった。降水量は50mmで平年より6mm多かった。日照時間は42.5時間で平年より8.3時間多かった。

6月中旬：最高および最低気温が14.4および7.0 でそれぞれ平年より2.7および1.1 低かったため、平均気温は10.7 で平年より1.9 低かった。降水量は2mmで平年より36mm少なかった。日照時間は16.0時間で平年より15.7時間少なかった。

この1ヶ月間は総じて、気温、日照時間は平年並、降水量はやや少なく推移した。

気象表

項目	5 月 下 旬			6 月 上 旬			6 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	11.2	10.4	0.8	13.3	10.4	2.9	10.7	12.6	1.9	11.7	11.1	0.6
最高気温 ()	16.5	15.6	0.9	18.4	15.0	3.4	14.4	17.1	2.7	16.4	15.9	0.5
最低気温 ()	5.8	5.2	0.6	8.2	5.7	2.5	7.0	8.1	1.1	7.0	6.3	0.7
降水量 (mm)	27	46	19	50	44	6	2	38	36	79	128	49
降水日数 (日)	5	4.7	0.3	5	4.8	0.2	1	4.1	3.1	11	13.6	2.6
日照時間 (時間)	57.3	43.0	14.3	42.5	34.2	8.3	16.0	31.7	15.7	115.8	108.9	6.9

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) 日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は負の値を示す

. 当 場 作 況

1 . とうもろこし

作況： やや不良

事 由 出芽日は、平年より3日早い6月3日であった。出芽は概ね斉一であったが、その後低温寡照に推移したため、生育は停滞した。
6月20日現在の草丈は平年のヒノデワセより2cm低く、葉数は同じく0.3枚少なかった。したがって、目下の作況はやや不良と判断される。

品 種 名	出芽期(月日)			草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エ マ	6. 3	6. 6	3	16	-	-	4.2	-	-
(ヒノデワセ	-	6. 3	-	-	18	-	-	4.5	-)

注)「エマ」の草丈及び出葉数には過去のデータが無いため、平年値は掲載しない。
参考として、下段に昨年まで供試していた「ヒノデワセ」の平年値(平成7年~13年のうち豊凶の平成7年及び13年を除く5か年の平均値)を掲載した。

2. 牧 草

(1) 採草型(チモシー・アカクローバ混播)

作況：1番草 やや不良

事 由

1番草：チモシーの出穂期は平年より8～9日早くなり、刈取日は10日早くなった。チモシーおよびアカクローバの草丈は、6月20日現在の草丈では平年よりも高いものの、1番草刈取時草丈としては、平年に比べてそれぞれ9cmおよび4cmとやや低かった。乾物収量は2および3年目草地平均の平年対比指数が93であり、マメ科率は平年より高かった。

6月上旬までの高温と寡雨により生育ステージは早く進み、1番草のチモシー収量は平年よりも少ないと考えられる。

したがって、作況はやや不良と判断された。

草 地	草種	1 番 草								
		出穂・開花期(月・日)			6月20日草丈			刈取時草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年 ⁴⁾	平年	比較	本年	平年	比較
「ノサップ」	TY	6.19	6.27	8	105	95	10	105	109	4
2年目	RC	-	7.6	-	82	70	12	82	83	1
「ノサップ」	TY	6.19	6.28	9	102	100	2	102	116	14
3年目	RC	-	7.6	-	79	71	8	79	86	7

草 地	草種	1 番 草		
		刈取日(月・日)		
		本年	平年	比較
「ノサップ」	TY	6.19	6.29	10
2年目	RC	6.19	6.29	10
「ノサップ」	TY	6.19	6.29	10
3年目	RC	6.19	6.29	10

草 地	1 番 草										
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				マメ科率(生草%)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較	
「ノサップ」	2年目	5352	4173	1179	674	643	31	105	73.3	62.6	10.7
	3年目	3896	4149	253	594	739	145	80	55.6	38.7	16.9

注 1) TY：チモシー

RC：アカクローバ(2年目草地は「ホクセキ」、3年目草地は「サッポロ」)

2) 平年値：2年目草地は平成8年および12年を除く5か年平均、3年目草地は平成7年および13年を除く5か年平均値。

いずれもTY「ノサップ」およびRC「サッポロ」の混播草地。

3) は減を示す

4) 本年は6月19日の値。

(2) 放牧型 (オーチャードグラス・ラジノクローバ混播)

作況：1番草 良
2番草 やや良

事 由

1番草：融雪以降の高温により、草丈はオーチャードグラスで5.5cm、ラジノクローバで8.5cm
平年を上回っていた。マメ科率は平年よりも高かったが、乾物収量は平年対比指数が184
と高かった。

1番草の作況は良と判断された。

2番草：草丈は平年に比べ、オーチャードグラスは4cm、ラジノクローバは3.5cm高かった。
したがって2番草の目下の作況はやや良と判断される。

草 地	草 種	1 番 草						2 番 草		
		刈取り月日			草 丈 (cm)			6月20日草丈 (cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「カミドリ」 2年目	OG	5.31	6.1	1	47	44	3	44	45	1
	LC	5.31	6.1	1	30	23	7	29	27	2
「カミドリ」 3年目	OG	5.31	6.1	1	55	47	8	47	42	5
	LC	5.31	6.1	1	32	22	10	30	25	5

草 地	1 番 草									
	生草収量 (kg/10a)			乾物収量 (kg/10a)				マメ科率 (生草%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較
「カミドリ」 2年目	1985	1046	939	243	138	105	176	76.7	48.2	28.5
	2123	1066	1057	287	150	137	191	64.6	45.3	19.3

注 1) OG：オーチャードグラス

LC：ラジノクローバ (品種「カリフォルニアラジノ」)

2) 平年値：2年目草地は平成7年および8年を除く5か年平均値

3年目草地は平成11年および13年を除く5か年平均値

3) は減を示す